

テオフィリン徐放錠 50mg 「ツルハラ」

【この薬は？】

販売名	テオフィリン徐放錠 50mg 「ツルハラ」
一般名	テオフィリン Theophylline
含有量 (1錠中)	50mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、キサンチン系気管支拡張剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、気管支の拡張、呼吸中枢の刺激などの作用により、気管支喘息、喘息性（様）気管支炎、慢性気管支炎や肺気腫による咳や痰がからむ、息苦しさ等の諸症状を改善します。
- ・次の病気の人に処方されます。
気管支喘息、喘息性（様）気管支炎、慢性気管支炎、肺気腫
- ・小児の喘息性（様）気管支炎は発熱を伴うことが多く、発熱時に服用すると痙攣（けいれん）があらわれやすくなります。このため、喘息性（様）気管支炎に使用する場合には優先して他の薬が使用されることがあります。
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にテオフィリン徐放錠 50mg「ツルハラ」または他のキサンチン系薬剤で重篤な副作用を経験したことがある人
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前にそのことを医師または薬剤師に教えてください。
 - ・てんかんの人
 - ・甲状腺機能亢進症の人
 - ・急性腎炎の人
 - ・うっ血性心不全の人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・高齢の人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人、授乳中の人
 - ・小児（特にてんかん及びけいれんを経験したことがある小児、発熱している小児、6ヵ月未満の乳児）
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。特に小児においては最新の情報に基づいて飲む量が決められます。

通常、飲む量および回数は、次のとおりです。

対象	成人	小児
1回量	4錠	2錠
飲む回数	1日2回	1日2回

〔気管支喘息に使用する場合〕

成人では、テオフィリン徐放錠 50mg「ツルハラ」として1回8錠を1日1回就寝前に飲むことがあります。

●どのように飲むか？

通常、朝および就寝前に、コップ1杯程度の水またはぬるま湯でかまらずに飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

飲む間隔を短くするのも避けてください。副作用があらわれやすくなります。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

消化器症状（吐き気、嘔吐）、精神神経症状（頭痛、不眠、不安、興奮、けいれん、せん妄、意識障害、昏睡など）、心・血管症状（頻脈、不整脈、血圧低下など）、低カリウム血症（息苦しい、脱力感、手足のまひ、口渇など）、呼吸促進、横紋筋融解症（筋肉痛、手足のしびれなど）の症状があらわれる可能性があります。このような症状があらわれたらただちに使用を中止し、受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬を使用中は、薬剤の血中濃度を定期的に測ることがあります。
- ・小児、特に乳幼児では発熱時に使用すると薬剤の血中濃度が上昇し、副作用があらわれやすくなるため、投与量の減量または投与の中止をする場合があります。お子様の状態を十分に観察し、発熱や異常が認められた場合には速やかに医師または薬剤師に相談してください。
- ・小児では一般に副作用であらわれる自覚症状を訴える能力が劣るので、保護者の方はお子様の状態を十分に観察し、異常が認められた場合には速やかに医師に連絡してください。
- ・カフェインを多く含むコーヒーや紅茶などを多飲すると、副作用があらわれることがあります。
- ・たばこやセイヨウオトギリソウ (St. John's Wort, セント・ジョーンズ・ワート) 含有食品が薬の効果に影響を与えることがあります。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合には、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

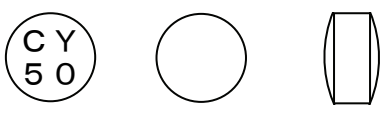
重大な副作用	主な自覚症状
痙攣 けいれん	部分的または全身の筋肉がけいれんする
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、考えがまとまらない
急性脳症 きゅうせいのうしょう	意識の低下、考えがまとまらない
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、赤褐色尿
消化管出血 しょうかかんしゅっけつ	血が混ざった便、黒色便、吐き気、嘔吐、血を吐く、腹痛
赤芽球癆 せきがきゅうろう	からだがだるい、動悸、めまい、息切れ
アナフィラキシー ショック アナフェラキシーショック	じんましん、顔面蒼白、汗をかく、めまい、脱力感、立ちくらみ、息苦しい、息切れ
肝機能障害 かんきのうしょうがい	皮膚が黄色くなる、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐、尿が黄色い、食欲不振、かゆみ、からだのだるい
黄疸 おうだん	皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる、白目が黄色くなる

頻呼吸 ひんこきゅう	呼吸が荒い、呼吸が速い
高血糖症 こうけつとう	からだがだるい、脱力感

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	けいれん、脱力感、からだがだるい、汗をかく
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、めまい、立ちくらみ
顔面	顔面蒼白
眼	白目が黄色くなる
口や喉	血を吐く、吐き気、嘔吐
胸部	吐き気、動悸、息苦しい、息切れ、呼吸が荒い、呼吸が速い
腹部	吐き気、腹痛、食欲不振
手・足	手足のこわばり、手足のしびれ
皮膚	じんましん、皮膚が黄色くなる、かゆみ
筋肉	筋肉の痛み
便	血が混ざった便、黒色便
尿	赤褐色尿、尿が黄色い、尿が褐色になる

【この薬の形は？】

販売名	テオフィリン徐放錠 50mg 「ツルハラ」
形状	白色の徐放性素錠 
直径	約 6.0mm
厚さ	約 3.7mm
重さ	約 113mg
色	白
識別コード	CY 50

【この薬に含まれているのは？】

販売名	テオフィリン徐放錠 50mg 「ツルハラ」
有効成分	テオフィリン
添加物	乳糖水和物、エチルセルロース、ステアリン酸カルシウム、軽質無水ケイ酸

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。

- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●**薬が残ってしまったら？**

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：鶴原製薬株式会社 (<http://www.tsuruhara-seiyaku.co.jp>)

医薬情報部：072-761-1456(代表)

受付時間： 月～金曜日 9:00～17:30 (祝祭日を除く)